

## 山の桜はヤマザクラ？

桜の季節になりました。ウェットランド入り口の桜も、写真のように見事に咲いています。この桜はエドヒガンという種類で、がくの基部がぷっくり丸く膨らんでいるのが特徴です。以前から生えていたもので、安田再建地の方に向かってうかがったところ、誰が植えたものでもなく、勝手に生えてきたそうです。鳥が種子を運んできたのでしょう。



ハイヅカ湖周辺では、山の斜面のあちこちで野生の桜が咲いています。山の桜だからヤマザクラと思われがちですが、もしヤマザクラならば、開花と同時に赤い若葉も開いているはずですが、望遠鏡で見ても、赤い若葉は見つかりません。ダム工事前の学術調査でも、ヤマザクラは見つからなかったようです。

このあたりの山の桜の多くは、ソメイヨシノよりも早く咲くので、おそらくエドヒガンだと思います。最近購入した「サクラハンドブック」（文一）によれば、ヤマザクラが「西日本では最も一般的な野生のサクラ」であるのに対し、エドヒガンは「本州、四国、九州に広く分布するが自生地は限られている」とあります。温井ダムにいたころはヤマザクラばかり見ていたので、灰塚に来てこの桜の逆転現象に接し、とても不思議に感じました。

ところで、先月号では花の木のセツブンソウ移植地を紹介しましたが、配布されたとたんに盗掘されてしまいました。監視の目がふえることを期待していたのですが、逆効果になり、とても残念です。